



特集 広報と振り返る 土岐市60年のあゆみ

土岐市は、昭和30年2月1日に、旧土岐津町・下石町・妻木町・駄知町・泉町・鶴里村・曾木村・肥田村の8カ町村が合併し、当時県下第3位の人口5万113人・9361世帯を抱える都市として誕生しました。

広報紙第1号は、合併前の昭和29年に「土岐郡広報」として発行されました。以来、初代二宮安徳市長から五代加藤靖也市長までの本市の発展の様子を伝え続けてきました。

今回の特集では、この町が歩んできた60年の歴史を広報紙とともに振り返ります。

8月 未曾有の豪雨が土岐市を襲う

昭和32年(1957年)

8月 国保中央病院開設



この年、約1800人が三国山キャンプ場を利用しました。

7月 三国山キャンプ場開設

昭和31年(1956年)



初の市長選挙は、無投票で二宮氏に決まりました。

3月 初代市長に二宮安徳氏当選

昭和30年(1955年)

昭和30年～32年 <<<<

昭和34年(1959年)

9月 伊勢湾台風で甚大な被害



この台風で下石小学校が全壊しました。

昭和39年(1964年)

7月 全国高校ウエイトリフティング大会開催

昭和40年(1965年)

4月 市消防署が完成

7月 国鉄土岐津駅が土岐市駅に改称

10月 第20回国民体育大会を開催



市民センター(現西部体育館)

昭和41年(1966年)

12月 新市庁舎が完成

昭和43年(1968年)

4月 国鉄土岐市駅舎が完成

昭和46年(1971年)

4月 国道19号バイパス開通

12月 市議会が「公害防止都市」を宣言

昭和47年(1972年)

7月 集中豪雨で駄知線の鉄橋が流失



市内では683世帯が浸水被害に。

昭和48年(1973年)

9月 中央自動車道土岐IC供用開始



テープカットは瑞浪ICで行われました。

昭和50年(1975年)

4月 二代市長に水野沖三氏当選

昭和51年(1976年)

4月 陶史の森が完成

5月 美濃焼卸商業団地が完成

6月 休日急病診療所開設

昭和53年(1978年)

4月 市図書館が完成

10月 焼津市とスポーツ姉妹都市締結

昭和54年(1979年)

7月 美濃陶磁歴史館が完成

10月 イタリア・ファエンツァ市と姉妹都市提携



イタリアでの盟約式

昭和55年(1980年)

2月 市民憲章制定
10月 資源ごみ回収スタート

昭和57年(1982年)

4月 市文化プラザが完成



S57.5.1 第805号



土岐市初の「のど自慢大会」

昭和58年(1983年)

4月 三代市長に塚本保夫氏当選

昭和60年(1985年)

3月 市浄化センターが完成
4月 公共下水道供用開始

昭和61年(1986年)

3月 土岐口土地区画整理事業が完了

昭和63年(1988年)

5月 市立総合病院開院

563.4.1 第947号
5月1日オープン
外来診療は5月6日開始
4月23日(24日)に一般公開します
開院時は14診療科でした。

平成元年(1989年)

2月 「織部の日」制定
4月 新土岐川橋が開通
9月 9月20日豪雨災害

平成3年(1991年)

3月 妻木土地区画整理事業が完了
4月 セラトピア土岐が完成

平成4年(1992年)

6月 稚児岩大橋が開通

H4.7.1 第1049号
と き '92 7-1 No.1049
稚児岩大橋開通
長さ145m、アーチの高さ24mの美しい橋が完成しました。

平成5年(1993年)

5月 国指定史跡「元屋敷窯跡」の発掘調査に着手

8月 消防団鶴里分団が県消防操法大会で土岐市初の準優勝

H5.8.15 第1076号
土岐市消防団 鶴里分団が準優勝
県消防操法大会 ポンプ車操法
所要時間は、出場32チーム中、一番でした。

平成7年(1995年)

4月 市総合公園が全面開園

平成10年(1998年)

7月 道の駅「どんぶり会館」がオープン

H10.6.1 第1191号
と き 1998 6.1 No.1191
県内では19番目の道の駅として誕生しました。

11月 第1回市農業祭を開催

平成13年（2001年）

5月 曾木町に上水道が通水。市内全域で上水道の給水体制が整う

平成15年（2003年）

4月 織部の里公園が開園

平成16年（2004年）

4月 道の駅「志野・織部」がオープン

H16.5.1 第1333号

オープン以来、毎年約60万人が訪れています。

平成17年（2005年）

3月 東海環状自動車道が開通

H17.3.1 第1353号

このとき、豊田東JCT～美濃関JCTの73kmが開通

同月 土岐プレミアム・アウトレットがオープン

平成18年（2006年）

4月 バーデンパークSOGIが開園
8月 県操法大会を35年ぶりに土岐市で開催

平成19年（2007年）

4月 四代市長に大野信彦氏が当選

平成21年（2009年）

4月 市プレミアム商品券を発売

H21.4.15 第1452号

1万円で1千円お買い得！プレミアム商品券を発売します

土岐商工会議所での販売の様子

平成22年（2010年）

6月 天皇后両陛下がセラテクノ土岐をご視察

H22.7.1 第1481号

約1万6千人の方が沿道に詰めかけました。

平成23年（2011年）

4月 五代市長に加藤靖也氏が当選

平成24年（2012年）

9月・10月 第67回国民体育大会（ぎふ清流国体）を開催

H24.11.1 第1537号

総合6位入賞の岐阜県チーム

平成25年（2013年）

2月 五斗蒔スマートICが開通
同月 「岐阜県元屋敷陶器窯跡出土品」が国の重要文化財に指定

平成26年（2014年）

5月 酒井敏也さんに土岐市観光大使を委嘱
7月 神奈月さんに土岐市観光大使を委嘱



みんなで描く未来の土岐市

市制施行60周年を記念して、「みんなで描く未来の土岐市」と題した木の絵を市役所玄関ロビーに設置し、市民の皆さんから、未来の土岐市に期待することを募集しました。来庁した市民の方々に、緑色の葉っぱの形をした

用紙に「こんな土岐市になったらいいな」を書いて、木の絵に貼ってもらいました。最初は枯れ木のようなだった木も、土岐市の明るい未来を願う皆さんの希望溢れるメッセージで、緑豊かに育ちました。

みんなで描く 未来の土岐市



皆さんの描いた希望の葉っぱを紹介します



心豊かな町に

土岐青年会議所
専務理事
土屋和弘さん

私がこの町で仕事や生活ができてるのは、友人や家族など周りの人の支えがあったからこそだと思います。周りの人に支えられるたび、人の温かさを感じることができました。

これから先の土岐市も、一人一人が他人のために行動し、支え合いがもっと増えていくことで、人の温かさを感じられる「心が豊かな町」になると思います。そのような気持ちを持った人が、未来の土岐市に多くいることを望んでいます。



笑顔あふれる 土岐市に

鶴里小学校5年生
土屋実喜穂さん

いつまでもにぎやかで笑顔の絶えない市であってほしいと思います。お祭りなどのみんなが楽しめる行事がたくさんあり、周りの人に親切で、お年寄りにも優しい場所であれば、自然に人が集まってくると思います。

私が通う鶴里小学校は3月で閉校し、4月からは曾木小学校と統合して濃南小学校になります。少し寂しい気持ちもありますが、みんなと仲良くし、笑顔あふれる楽しい小学校をつくらせていきたいです。

そして未来へ <<<<